

# 阪神・淡路大震災の記憶、教訓を風化させない

「周囲気遣う心大切」

神戸市灘区・照光寺

阪神・淡路大震災で  
本堂と庫裏が全壊した  
今年も参拝できてよか  
った」と話した。

神戸市灘区の照光寺  
津守住職は「コロナ  
(津守秀俊住職)も同  
禍で緊急事態宣言が出  
される今、世間に大震  
災が発生した後と同じ  
日、追悼法要を営んだ  
ような雰囲気(たふま)が漂って  
(写真)。

参拝した飛騨(ひた)安信さ  
ん(88、門徒総代)は「周  
囲には家や家族を失っ  
たという方がおられ、  
震災当時は助かった喜  
びより『助かってしま  
った』というような重  
いものを、心に抱えて  
いた。次第に復興しよ  
うという世情に流され  
る人々を、心に抱えて  
いた。次第に復興しよ  
うという世情に流され



の日は大切にしたい。